

経済産業省による雇用対策の取組

令和2年7月29日

経済産業副大臣

牧原 秀樹

各地域の雇用の動向

- 各地域の雇用の動向につき、経産局がヒアリングを行ったところ、ポイントは下記のとおり。

1. 需要回復を見込み、雇用維持を図る企業も多い

- A業界では、年内にコロナ前の水準まで生産が回復すると見込み、正規、非正規ともに雇用を概ね維持する方向の企業もある。（関東）
- B業界では、現時点で派遣社員などの雇用調整は予定しておらず、新卒採用は人数削減せず実施する企業もある。（東北）
- C業界では、海外需要の低迷により生産調整はあるが、大手メーカーは雇用維持する方向である。（九州）

2. 業種によっては需要が戻りつつあり、人材確保に動き出している

- D業界では、生産ラインが徐々に回復してきており、一時帰休させていた派遣社員の再派遣や新規採用を再開する企業もある。（関東・九州）

3. 需要回復の見通しが立たず、引き続き雇用調整を迫られる企業も

- E業界では、需要回復が見込めず、希望退職を募っている状況の企業もある。（東北）
- F業界では、期間満了時に契約延長しない動きが出ており、更に拡大する見込みとの声あり。（中部）
- G業界では、ある企業は業務量が減った分は休業ではなく研修で対応し、新卒採用は減らす予定。（近畿）

人材マッチング事業の展開（前回会合からの進捗）

- 各経済産業局において、人材マッチング事業を実施・検討中。

<北海道経済産業局>

- 金融機関の協力を得て、従業員の雇用維持に苦慮している産業（飲食業・観光業等）と、入国制限等により深刻な人手不足が続く産業（農業・水産業等）との間の人材マッチングを支援。
- これまでに計5回、延べ26社（送出企業10社、受入企業16社）にマッチングを実施し、現時点でのマッチング成立は3組（17名）。 ※3組の内訳：
 - ①航空関係サービス業から農業へ出向（1名）
 - ②ブライダル業から農業へ出向（14名）
 - ③ブライダル業から農業へ出向（2名）

<東北経済産業局>

- 岩手県で、働き方改革の実践など特色を有する県内企業30社程度と求職者とのマッチングイベント「いわてキラリ企業合同就職フェア」（9/25）の開催に向けて調整中。

<関東経済産業局>

- 埼玉県、埼玉労働局、関東経済産業局の連携により、人材マッチング事業を展開。県内企業に調査票を送付したところ、171社（製造業、建設業等）から「人材不足」、52社（製造業、卸・小売業等）から「人材余剰」の回答あり。[調査は7/10で〆切、以降はポータルサイトから直接登録]
- 人材不足企業に対し、複数の人材余剰企業の情報を提示し、マッチングサポーターが個別ヒアリングを実施中。

人材マッチング事業の展開（前回会合からの進捗）

<中部経済産業局>

- 愛知、岐阜、三重県**において、国・県・関係機関が連携した**人材マッチングの枠組みをスタート**。「人材マッチングに関する意向確認調査（Web）」では、マッチングを希望する89社から回答。このうち、**送出希望企業は15社（うち製造業9社）、受入希望企業は74社（うち製造業40社）**。

<近畿経済産業局>

- 感染症により、採用活動ができなくなった企業と就職活動ができなくなった求職者の出会いの場として、
 - ・大阪では、**大阪府と「OSAKA ジョブセレクション」（7/30）を共催**。求職者向け広報は、**大阪労働局と連携**。
 - ・京都では、**京都府、京都ジョブパーク、京都府中小企業人材確保推進機構（京都労働局等が構成員）と「バーチャル京都ジョブ博 WEB 合同企業説明会」（9/5）を共催**。

<中国経済産業局>

- 岡山県**で、採用意欲の高い製造業15社程度と感染症の影響を受けている求職者とのマッチングを行うべく、**7月末から求職者向けに企業情報を発信し、順次個別マッチングを進める予定**。また、**合同企業説明会の開催(9/4)を調整中**。

人材マッチング事業の展開（前回会合からの進捗）

<四国経済産業局>

- 香川県で、香川労働局・県庁・高松市等と連携し、採用意欲のある企業と感染症の影響を受けている求職者を含めた合同就職面接の場として「かがわーくフェア2020」(8/26)を開催。

<九州経済産業局>

- 福岡労働局・福岡県と連携し求人企業20社（うち地域未来牽引企業7社）、感染症の影響を受けている求職者13名のマッチングに向けたWEB面談を実施（7/17）。また福岡県主催WEB合同会社説明会(6/29～7/1：参加企業38社)にも協力。

<沖縄経済産業部>

- 求人企業と感染症の影響を受けている求職者（人材余剰企業含む）とのWEB合同企業説明会を開催（8/26又は8/27で調整中）。

(参考) 人材シェアマッチングを希望する送り出し・受入れ企業の参加申込が可能なポータルサイト (関東経済産業局)

関東 *de* 人材シェア!

TOP

受入企業情報

マッチングサポーター

サポート希望の企業様へ

よくある質問

関連情報

受入企業情報

受入企業を紹介します

受入企業を探す

募集職種

で絞り込む



勤務地域

で絞り込む



受入形態

で絞り込む



最新受入企業

有限会社天翔

地域: さいたま地域

職種: 営業

株式会社エイトワーク

地域: さいたま地域

職種: 販売・サービス

サポート
希望はこちら

有識者との意見交換

- 7月22日に、宮下副大臣、稲津副大臣と共に、有識者と意見交換を実施。有識者からの主な意見は、以下のとおり。

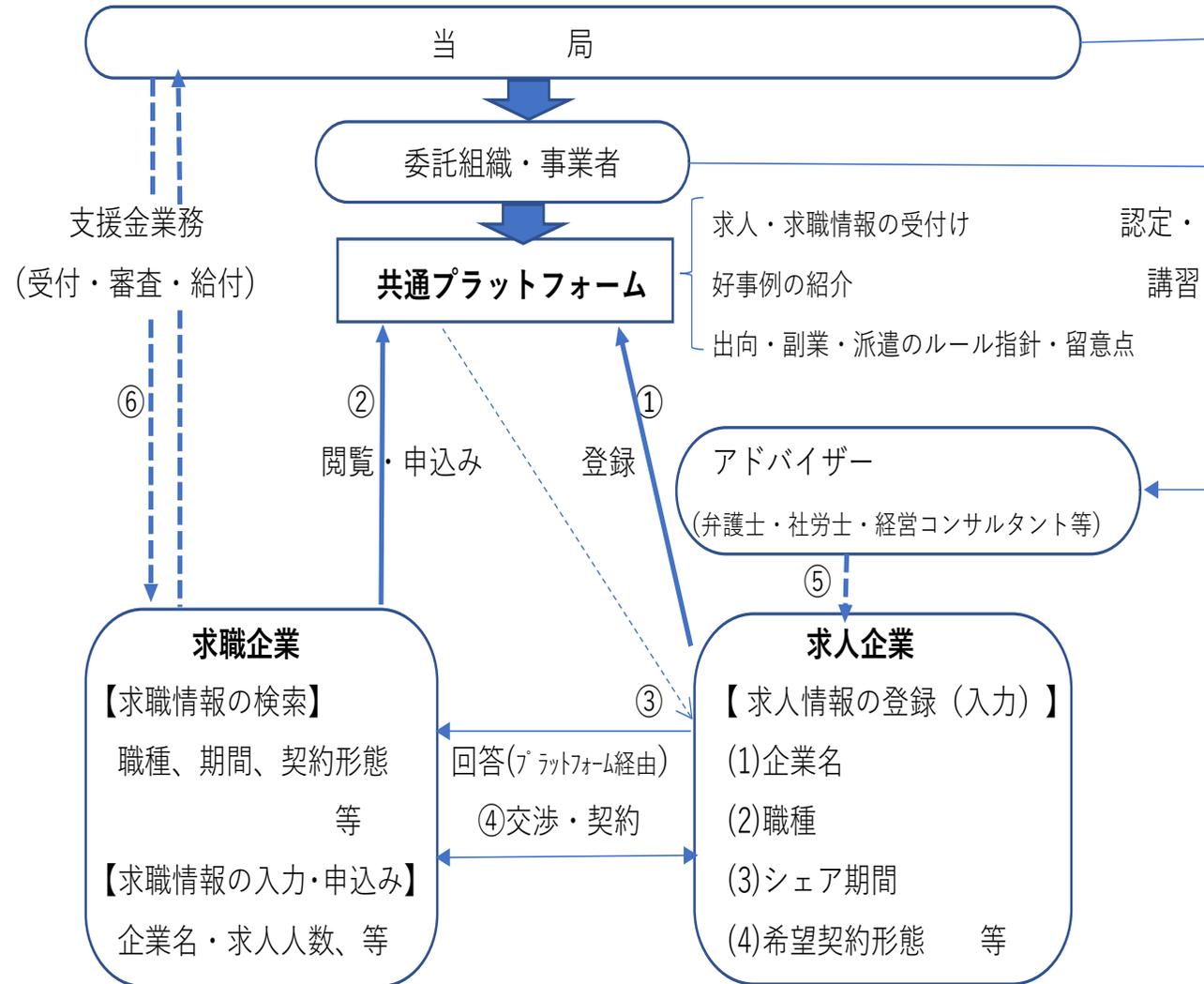
1. 労働経済学者

- 現在の労働市場は、感染症の影響により、労働者と企業とのマッチングに時間を要し、一時的失業が増加。
- ニューノーマルでは、産業構造の変化に伴い失業が長期化する可能性があり、休業補償だけではなく、失業補償、そして新たな就職に向けた職業訓練や教育訓練が重要になってくる。
- また、感染症の影響で、求人広告数においてサービス業（調理・給仕・接客）が大きく減少しており、これらの職種をどうつなぎ止めるか、異業種間の転換を促せるかが課題。

2. シンクタンク関係者

- 感染症の影響により、経済社会構造の変化に伴い雇用構造も変化。新しい分野に労働力を移動させるような政策が必要。
- 人手が過剰になった産業から人手不足にある産業に、出向や副業などといった様々な形態で人材をレンタルすることで雇用維持を図る「シェアリング型一時就労」を提案。
- 政府の役割として、共通プラットフォームによる求人・求職情報の一元的な集約、出向などのルール設計、一時就労を促進するための助成金などのインセンティブを導入するなどの政策を考えていくことが重要。

(参考) 「人材シェア」のための求人・求職情報の 共通プラットフォームのイメージ (有識者提案)



- ＜基本サービス＞
- 求人企業がニーズ情報を登録(①)。
 - 求職企業は求人情報を閲覧し、共通プラットフォーム経由で申し込み(②)。
 - 求人企業は共通プラットフォーム経由で回答(③)。
 - その後は、基本的に双方の交渉で決める(④)。
- ※契約形態に関わる相談窓口を設置 (Chatbot、電話)、情報を蓄積して Q&Aでプラットフォームに適宜紹介。
- ＜オプションA＞
- アドバイザーの紹介(有料、ただし助成金で低額化も)(⑤)
- ＜オプションB＞
- 助成金の給付(⑥)